

大阪新聞錦画

第五号



四谷内藤新宿の山打守屋と云ふ貸座敷に居る大波と云ふ唱歌の定石を小糸にのせて言へませう
くやん思ひを鳥田留根からフツツり切つて小糸の
ひびくわたつゆ上を下へと大いなる恋のてせ管と
りあうせんく長い髪の毛や指を切ると我軀を

担承おまうしと風がつらませぬうまれうお各お實立意を
つくせを向とも美りたのぢんせぬ自分の悪いふ心はく代と
人も怒むのぢてぢひ下若くせぬあなれおと

讀賣貞十号

小まめん

文山人記



大阪新聞
錦画
第五号

文山人記